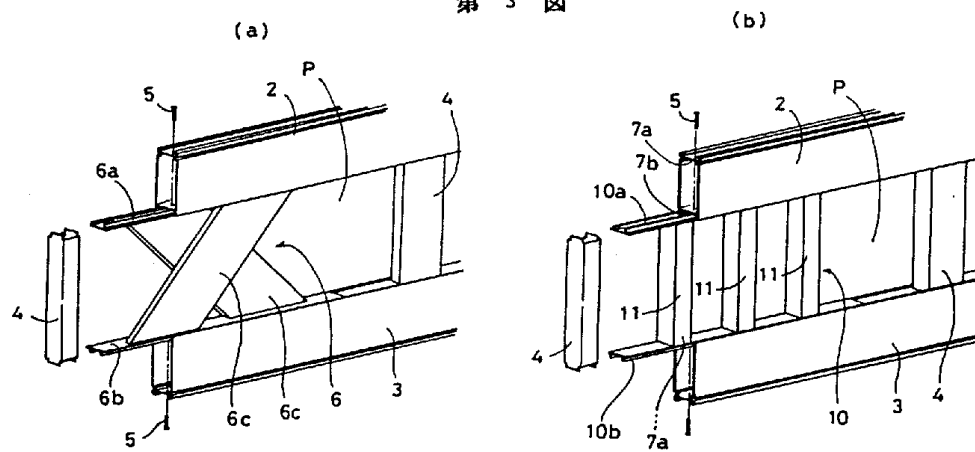
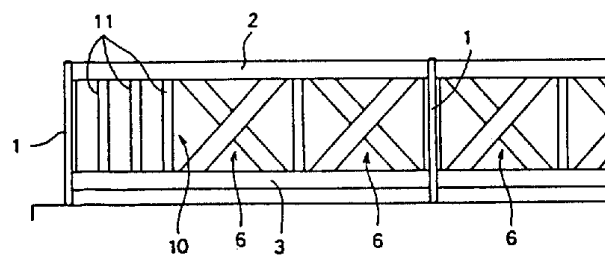


第 3 図



第 4 図



ることができる。以上により、フェンス、手摺等における長手方向の寸法調整を容易に行なうことができる。

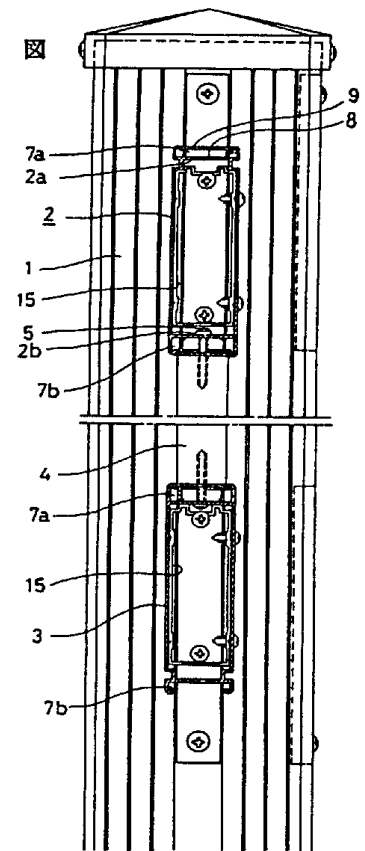
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係るフェンスの一部側面図、第2図は第1図のX-X線上的拡大断面図、第3図(a)(b)は上記フェンスの端部における寸法調整説明図、第4図は寸法調整後のフェンスの端部の側面図である。

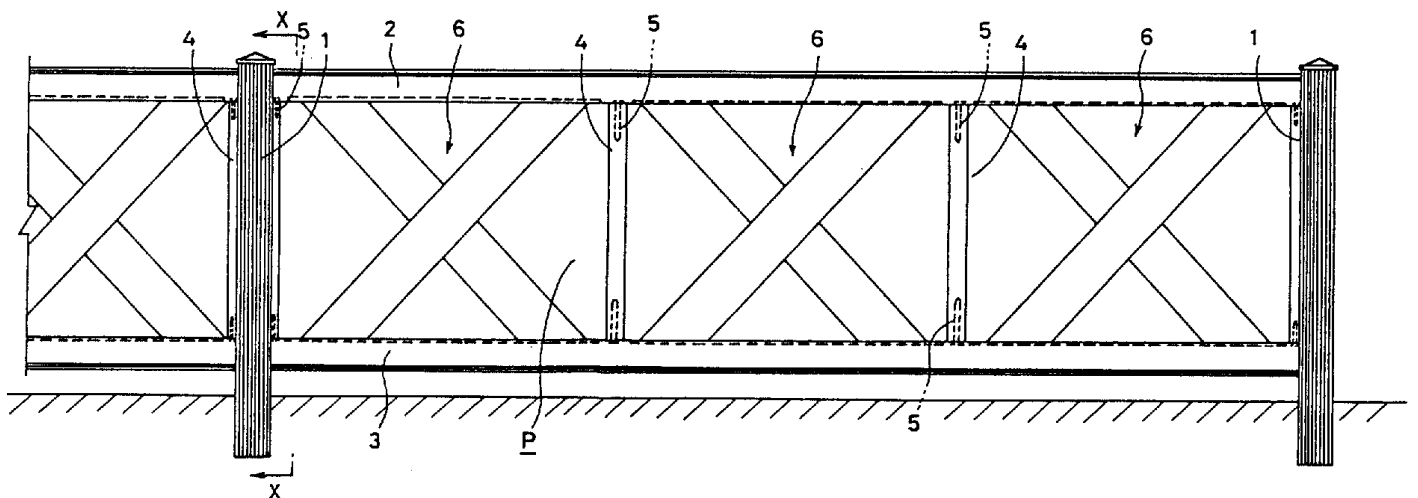
符号P…化粧体取付部、2…上棧、3…下棧、6…化粧体、10…調整体、10a…上縁材、10b…下縁材、11…縦格子

特許出願人 新日軽株式会社  
代理人 弁理士 瀬川 幹 夫

第2図



第1図



## ⑫ 公開特許公報(A) 平1-310073

⑤Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成1年(1989)12月14日

E 04 H 17/14

1 0 2

Z-8504-2E

E 04 F 11/18

2101-2E

E 04 H 17/16

1 0 1

8504-2E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑤4発明の名称 フェンス、手摺等の長手方向における寸法調整方法

②1特 願 昭63-136567

②2出 願 昭63(1988)6月2日

⑦2発 明 者 五十嵐 俊英

東京都江東区木場2丁目7番23号 新日軽株式会社内

⑦1出 願 人 新日軽株式会社

東京都江東区木場2丁目7番23号

⑦4代 理 人 弁理士 瀬川 幹夫

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

フェンス、手摺等の長手方向における寸法調整方法

## 2. 特許請求の範囲

互いに平行な上棧と下棧との間に複数の化粧体を上記上棧と下棧の長手方向に沿って並設し、上記上棧及び下棧の端部を施工現場の調整寸法に応じて切断したとき、上記上棧及び下棧の端部に形成された化粧体取付部の幅が上記化粧体の幅に満たない場合において、上記化粧体に代えて上縁材と下縁材との間に複数の縦格子を設けてなる別設の調整体を上記端部の化粧体取付部の幅寸法に応じて切断し、該調整体を上記端部の化粧体取付部に装着することを特徴とするフェンス、手摺等の長手方向における寸法調整方法。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はフェンス、手摺等の長手方向におけ

る寸法調整方法、詳しくは上棧と下棧との間に複数の化粧体を長手方向に沿って並設し、上棧と下棧の端部を施工現場の調整寸法に応じて切断したときに、この端部に化粧体を取付けられる幅寸法がない場合の寸法調整方法に関するものである。

(従来技術とその問題点)

一般に、上棧と下棧との間に複数の化粧体を長手方向に沿って並設してフェンス、手摺等を組み立て構成する場合、上棧と下棧の端部は施工現場の条件に応じて調整切断する必要があるが、上記端部に形成された化粧体取付部の幅が化粧体の幅寸法に満たないときは、化粧体の幅を上記取付部の幅寸法に応じて切り詰めなければならない。

しかしながら、化粧体は通常、外観体裁をよくするため、直線状の構成部材をわざわざ斜めに配置したり、輪郭を曲線状に形成したりした比較的複雑な構造を採用していることが多い。このため、化粧体の幅を切り詰め調整するの

は、面倒であるばかりでなく、切り詰め調整によって化粧体自体の形状が変わってしまい、全体の外観が不自然になってしまうおそれがある。したがって、このような場合の寸法調整方法の解決が臨まれていた。

(発明の技術的課題)

本発明は上記事情に鑑みて成立したものであって、上棧と下棧の端部に形成された化粧体取付部の幅寸法が化粧体の寸法に満たない場合におけるフェンス、手摺等の長手方向における寸法調整方法を提供することをその技術的課題とする。

(発明の作用、効果)

上述の寸法調整方法によれば、フェンス、手摺等は上下棧間に複数の化粧体を並設する構成であるから、端部の寸法調整にあたっては、化粧体取付部を寸法調整部分とすることができ、そして、調整部分には化粧体に代えて別設の調整体を装着するので、化粧体を切断する必要がない。特に切断が難しい化粧体の場合に

2の上壁2aの貫通孔8を塞ぐため、通常は上壁2a上面嵌着溝7aにカバー材9が嵌着されている。

次に、上記構成部材によってフェンスを組立て施工するときは、第3図(a)に示すように、予め一定の長さの上下棧2、3間に縦棧4と化粧体6とを並べて配置固定することによりフェンスの構成単位を組立てておき、各構成単位を施工現場に設けられた支柱1内に一方の端部から順次取付け固定して長手方向に沿って連設していく。そして、最後に他方の端部において上棧2と下棧3とを現場の調整寸法に応じて切断する。この場合、上棧2と下棧3の端部に形成された化粧体取付部Pの幅寸法が化粧体6の幅寸法に満たない場合には、上記化粧体6に代え、次のように構成された別設の調整体10によって寸法調整する。

すなわち、調整体10は第3図(b)に示すように、上縁材10aと下縁材10bとの間に複数の縦格子11を等間隔をおいて配置固定してな

は、調整作業を簡単に行なうことができる。調整体は上下縁材間に複数の縦格子を等間隔に設けた構成であるから、自由な長さに切断して容易に寸法調整することができる。以上により、フェンス、手摺等における長手方向の寸法調整を容易に行なうことができる。

(実施例)

以下、図面を参照しながら本発明をフェンスを組立て施工する例について説明する。

第1図はフェンスを示す。このフェンスは支柱1に支持された平行な上棧2と下棧3との間に縦棧4を配置し、該縦棧4の上下端をそれぞれ上記上棧2及び下棧3の各上方向及び下方向から挿通したネジ5によって止着したもので、さらに上下棧3及び縦棧4によって形成された化粧体取付部P内に化粧体が並設されている。

上棧2は第2図に示すように、断面方形の中空部の上壁2aの上面及び下壁2bの下面の長手方向に沿って嵌着溝7a、7bを連続形成した一定の長さの部材である。下棧3は上棧2と

るもので、上記上下縁材10a、10bの断面形状は化粧体6の上下縁材10a、10bの断面形状と同じに形成されている。

上記端部の寸法調整にあたっては、上記構成の調整体10の上縁材10a及び下縁材10bを前記端部の化粧体取付部Pの幅寸法に応じて切断し、該上縁材10a及び下縁材10bをそれぞれ上棧2の下面嵌着溝7b及び下棧3の上面嵌着溝7aに嵌合装着すればよい。

上述の寸法調整方法によれば、フェンス、手摺等は上下棧3間に複数の化粧体6を並設する構成であるから、端部の寸法調整にあたっては、化粧体取付部Pを寸法調整部分とすることができる。そして、調整部分には化粧体6に代えて別設の調整体10を装着するので、化粧体6を切断する必要がない。特に切断が難しい化粧体6の場合には、調整作業を簡単に行なうことができる。調整体10は上下縁材10a、10b間に複数の縦格子11を等間隔に設けた構成であるから、自由な長さに切断して容易に寸法調整す

**PAT-NO:** JP401310073A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 01310073 A  
**TITLE:** SIZE ADJUSTMENT METHOD FOR  
FENCE, HANDRAIL AND THE LIKE  
IN LENGTHWISE DIRECTION  
THEREOF  
**PUBN-DATE:** December 14, 1989

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
IGARASHI, SHUNEI	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
SHIN NIKKEI CO LTD	N/A

**APPL-NO:** JP63136567  
**APPL-DATE:** June 2, 1988

**INT-CL (IPC):** E04H017/14 , E04F011/18 ,  
E04H017/16

**US-CL-CURRENT:** 256/65.01 , 256/DIG.6

**ABSTRACT:**

PURPOSE: To enable the easy adjustment of sizes in a lengthwise direction without any harm to external appearance by arranging a separate adjustment body instead of decorative bodies at the end of a fence and the like constituted with

the side-by-side arrangement of the decorative bodies.

CONSTITUTION: The required number of decorative boards 6 and so forth are arranged side by side between upper and lower bars 2 and 3 supported in parallel to each other with support pillars 1 and 1, thereby constituting a fence, a handrail and the like. In this case, when a space left between the support pillars 1 and 1 is not enough to cover the width of the decorative boards 6 and so forth, an adjustment body comprising a plurality of vertical gratings 11 and so forth are cut into the predetermined size and fitted to the end of the space, instead of the decorative boards 6 and so forth. According to the aforesaid construction, it becomes possible to adjust a lengthwise size without any process of the decorative boards 6 and so forth difficult to and unsuitable for being cut.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio